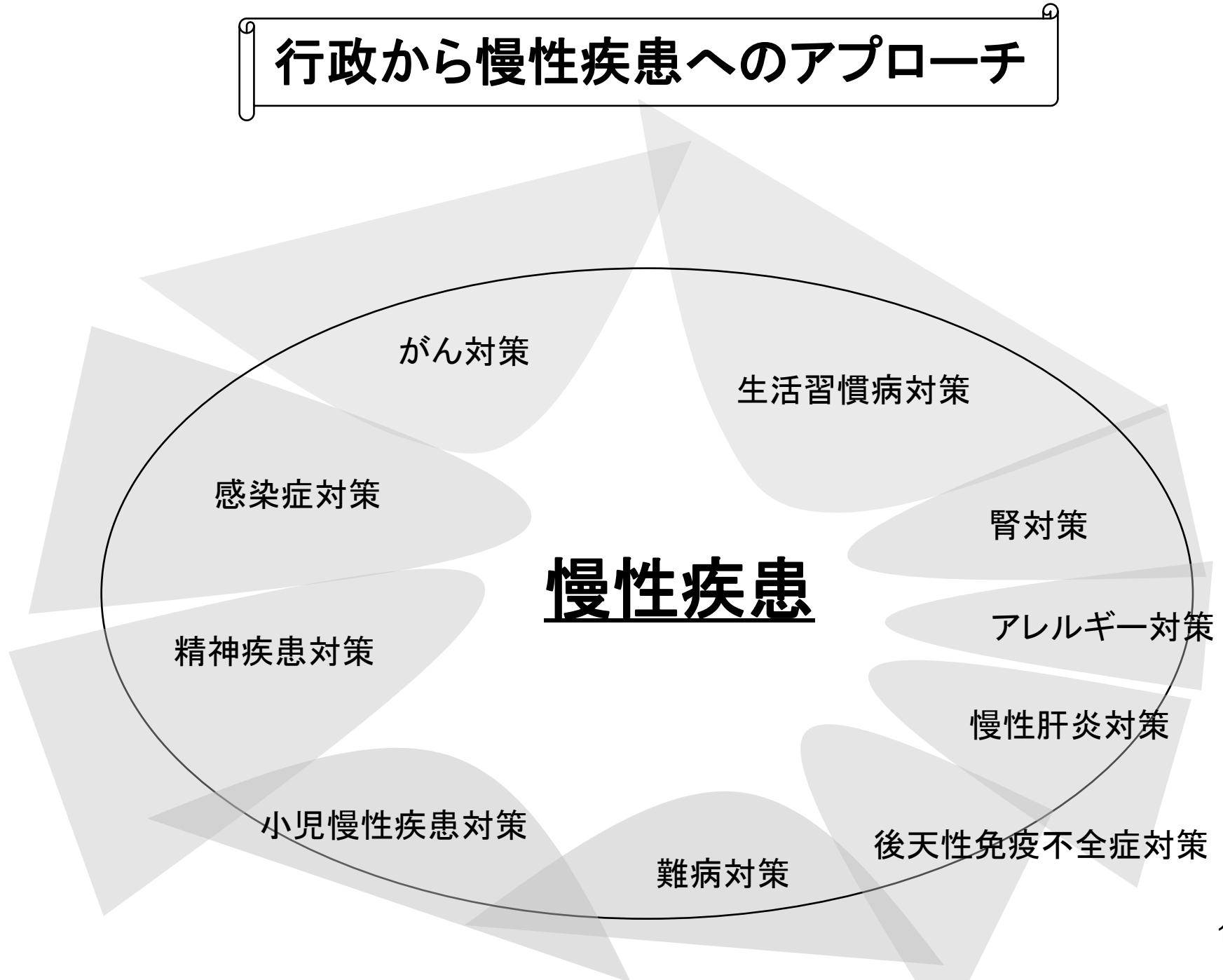


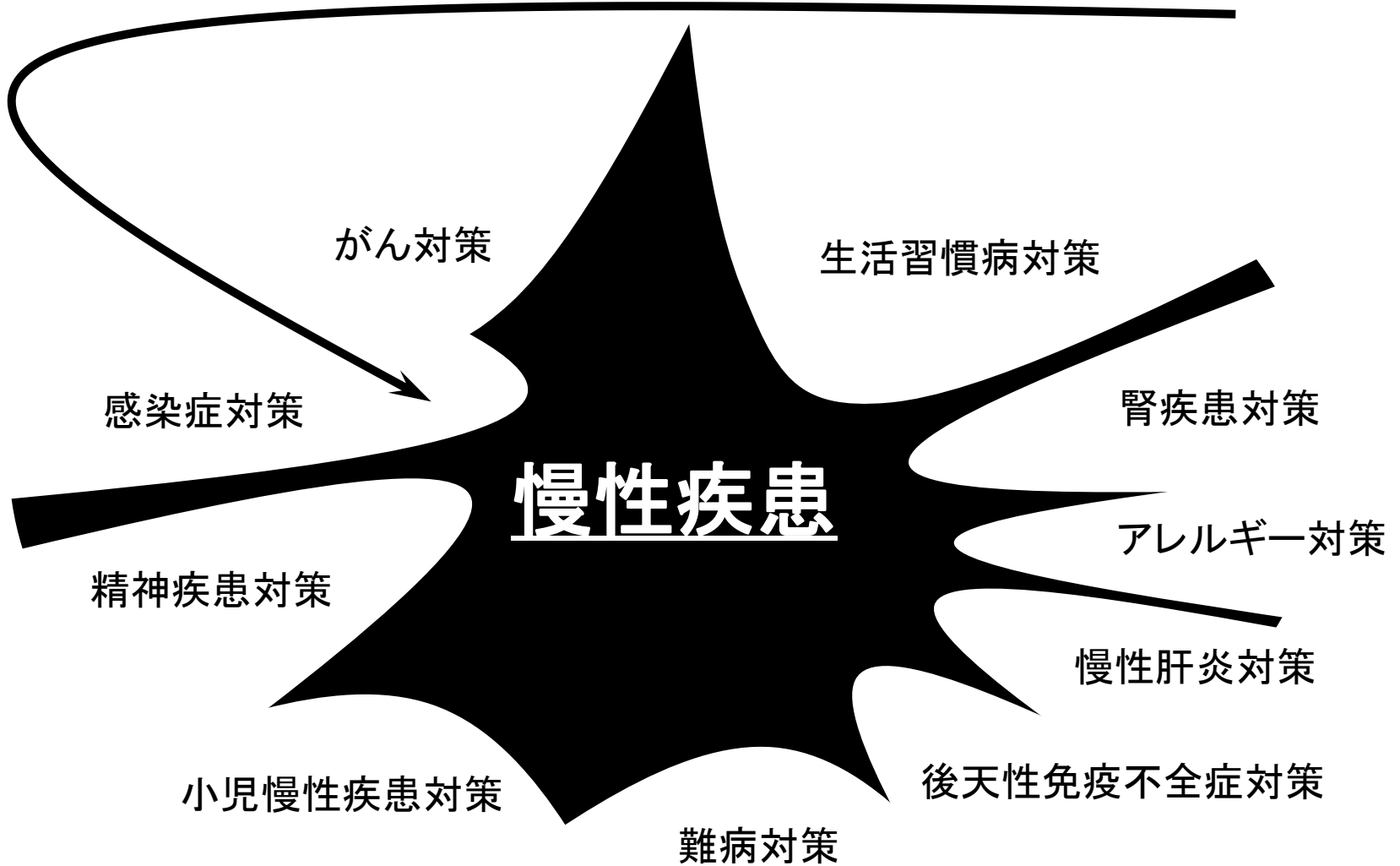
慢性疾患の施策現状

(総論)

行政から慢性疾患へのアプローチ



～ 個別の行政施策があまり行われていない領域～



外来患者数疾病別順位

平成17年度患者調査により(歯科、感染性、精神、皮膚疾患のぞく)

1 本態性(原発性)高血圧(症)

- 2 脊椎障害(脊椎症を含む)
- 3 関節症
- 4 喘息

5 高脂血症

6 インスリン非依存性糖尿病

- 7 椎間板障害
- 8 白内障

9 脳梗塞

- 10 慢性腎不全
- 11 胃炎及び十二指腸炎
- 12 腰痛症及び坐骨神経痛

13 その他の糖尿病

- 14 アレルギー性鼻炎
- 15 骨粗しょう症

16 狭心症

- 17 胃潰瘍
- 18 肩の傷害
- 19 屈折及び調節の障害
- 20 その他の眼及び付属器の疾患
- 21 軟部組織障害
- 22 緑内障
- 23 アトピー性皮膚炎
- 24 前立腺肥大(症)

25 不整脈及び伝導障害

- 26 関節リウマチ
- 27 頸腕症候群
- 28 その他の脊柱障害
- 29 睡眠障害
- 30 慢性閉塞性肺疾患

外来患者数疾病別順位

平成17年度患者調査により(歯科、感染性、精神、皮膚疾患のぞく)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 本態性(原発性)高血圧(症) | 16 狭心症 |
| 2 脊椎障害(脊椎症を含む) | 17 胃潰瘍 |
| 3 関節症 | 18 肩の傷害 |
| 4 喘息 | 19 屈折及び調節の障害 |
| 5 高脂血症 | 20 その他の眼及び付属器の疾患 |
| 6 インスリン非依存性糖尿病 | 21 軟部組織障害 |
| 7 椎間板障害 | 22 緑内障 |
| 8 白内障 | 23 アトピー性皮膚炎 |
| 9 脳梗塞 | 24 前立腺肥大(症) |
| 10 慢性腎不全 | 25 不整脈及び伝導障害 |
| 11 胃炎及び十二指腸炎 | 26 関節リウマチ |
| 12 腰痛症及び坐骨神経痛 | 27 頸腕症候群 |
| 13 その他の糖尿病 | 28 その他の脊柱障害 |
| 14 アレルギー性鼻炎 | 29 睡眠障害 |
| 15 骨粗しょう症 | 30 慢性閉塞性肺疾患 |

既に取り組まれている疾患(生活習慣病以外)

外来患者数疾病別順位

平成17年度患者調査により(歯科、感染性、精神、皮膚疾患のぞく)

1 本態性(原発性)高血圧(症)

★2 脊椎障害(脊椎症を含む)

★3 関節症

4 喘息

5 高脂血症

6 インスリン非依存性糖尿病

★7 椎間板障害

8 白内障

9 脳梗塞

10 慢性腎不全

11 胃炎及び十二指腸炎

★12 腰痛症及び坐骨神経痛

13 その他の糖尿病

14 アレルギー性鼻炎

★15 骨粗しょう症

16 狭心症

17 胃潰瘍

★18 肩の傷害

19 屈折及び調節の障害

20 その他の眼及び付属器の疾患

★21 軟部組織障害

22 緑内障

23 アトピー性皮膚炎

24 前立腺肥大(症)

25 不整脈及び伝導障害

★26 関節リウマチ

★27 頰腕症候群

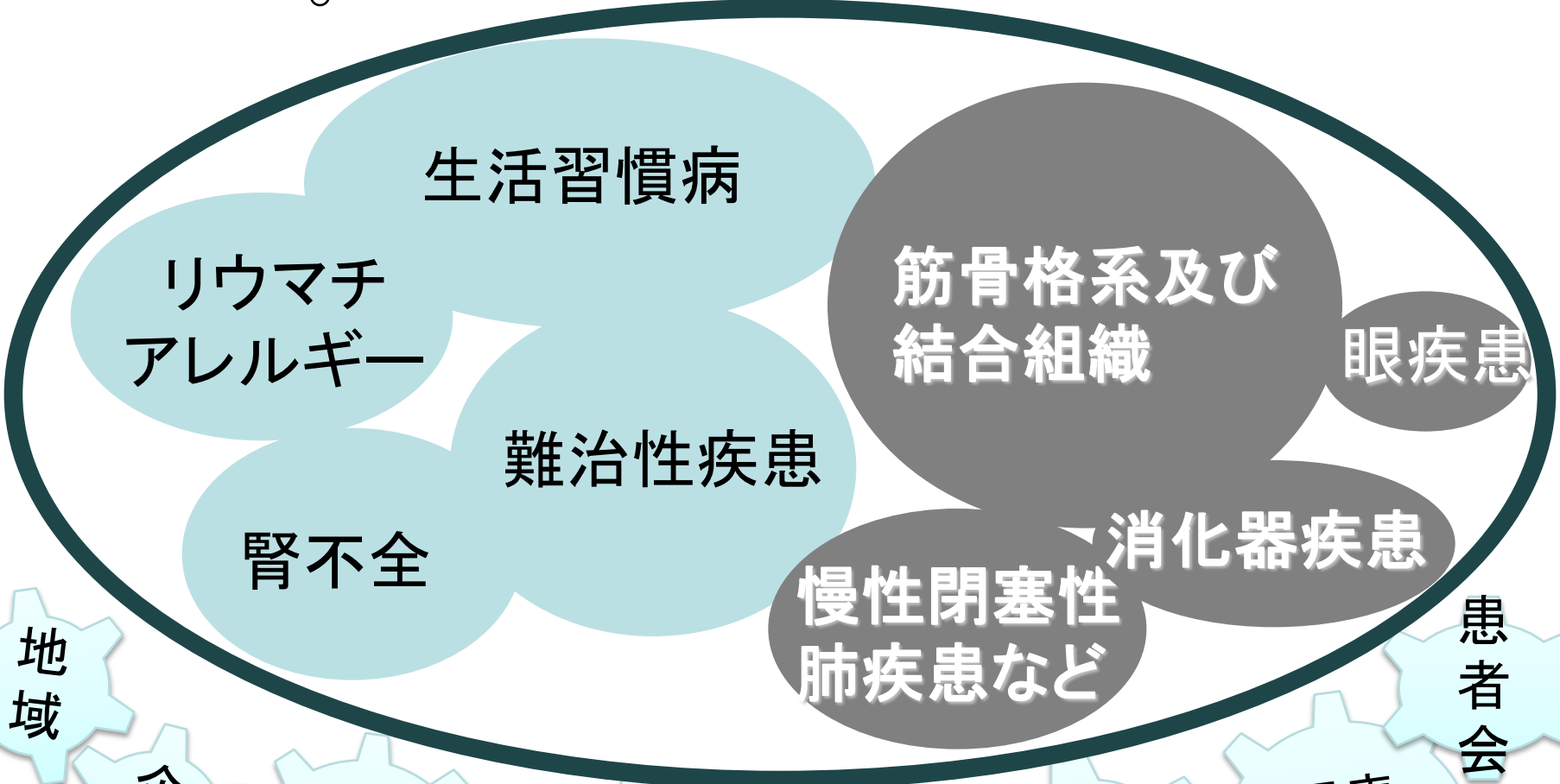
★28 その他の脊柱障害

29 睡眠障害

30 慢性閉塞性肺疾患

★ 筋骨格系及び結合組織の疾患

今後の慢性疾患対策のイメージ



地域

企業

家族

学校・
職場

行政

メディア

医療
機関

患者会

慢性疾患対策の現状

(各論)

生活習慣病へのアプローチの現状

- 生活習慣病対策の取り組み

- ＜基本的方向＞

- 医療保険者(国保・被用者保険)に対し、40歳以上の被保険者・被扶養者を対象として、メタボリックシンドロームの考え方に着目した健診および保健指導の実施を義務付けている。(H20年度より)

- ＜主な内容＞

- ・各医療保険者は、作成した特定健康診査等実施計画に基づき、計画的に健診・保健指導を実施。
 - ・健診によって発見された要保健指導者に対し保健指導を行い、生活習慣改善をしっかりと支援。
 - ・医療保険者は、健診結果データを有効に活用し、保健指導を受ける者を効率的に選定するとともに、事業評価を行う。また、被保険者等への情報提供。

- ＜医療連携体制の確保＞

- 4疾病(がん 脳卒中 心筋梗塞 糖尿病)5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、小児医療、周産期医療)に関する医療連携体制←救急医療から福祉までのきめ細やかな対応の必要性

- ＜糖尿病等の生活習慣病対策の推進方策＞・・・中核機関および関係団体との連携による予防方法・治療方法に関する正しい情報発信→国民の行動変容→糖尿病等の生活習慣病25%減少目標

糖尿病への取組

国

- ・健康日本21によるポピュレーションアプローチ
- ・特定健診・保健指導によるハイリスクアプローチ
- ・医療計画を通じた診療連携体制の構築
- ・Mindsを通じた診療ガイドラインの普及・啓発

・診療報酬 等

効率的・効果的な普及・啓発が不十分

糖尿病情報センターの創設
～国立国際医療センター～

- ・糖尿病に関する情報の集約(患者登録、臨床研究など)
- ・糖尿病に関する情報の普及・啓発
- ・専門家の養成、研修会の開催

国、地方自治体、関係学会等の相互の連携が不十分

※今後、医療保険者における取組の充実強化を図ることも課題

都道府県

・都道府県医療計画の作成
(糖尿病医療クラスター)

医療機関同士の連携が不十分

専門治療
(病院・医療センター等)

慢性合併症治療
(眼科・病院等)

急性増悪時治療
(病院等)

治療中断率が高い

糖尿病初期安定期治療
(医院・診療所等)

健診後の受診率が低い

日本糖尿病対策推進会議

日本医師会

日本糖尿病学会

日本糖尿病協会

日本歯科医師会

健康保険組合連合会

国民健康保険中央会

- ・かかりつけ医機能の充実と医療連携
- ・受診勧奨と事後指導の充実
- ・糖尿病治療成績の向上

都道府県糖尿病対策推進会議

- ・研修会の開催

その他の医院・診療所等

- ・健康診査等による糖尿病の早期発見
- ・日常的な診療における早期発見

健診の受診率が低い

糖尿病等の生活習慣病の発症予防・重症化予防の流れに対応した客観的評価指標

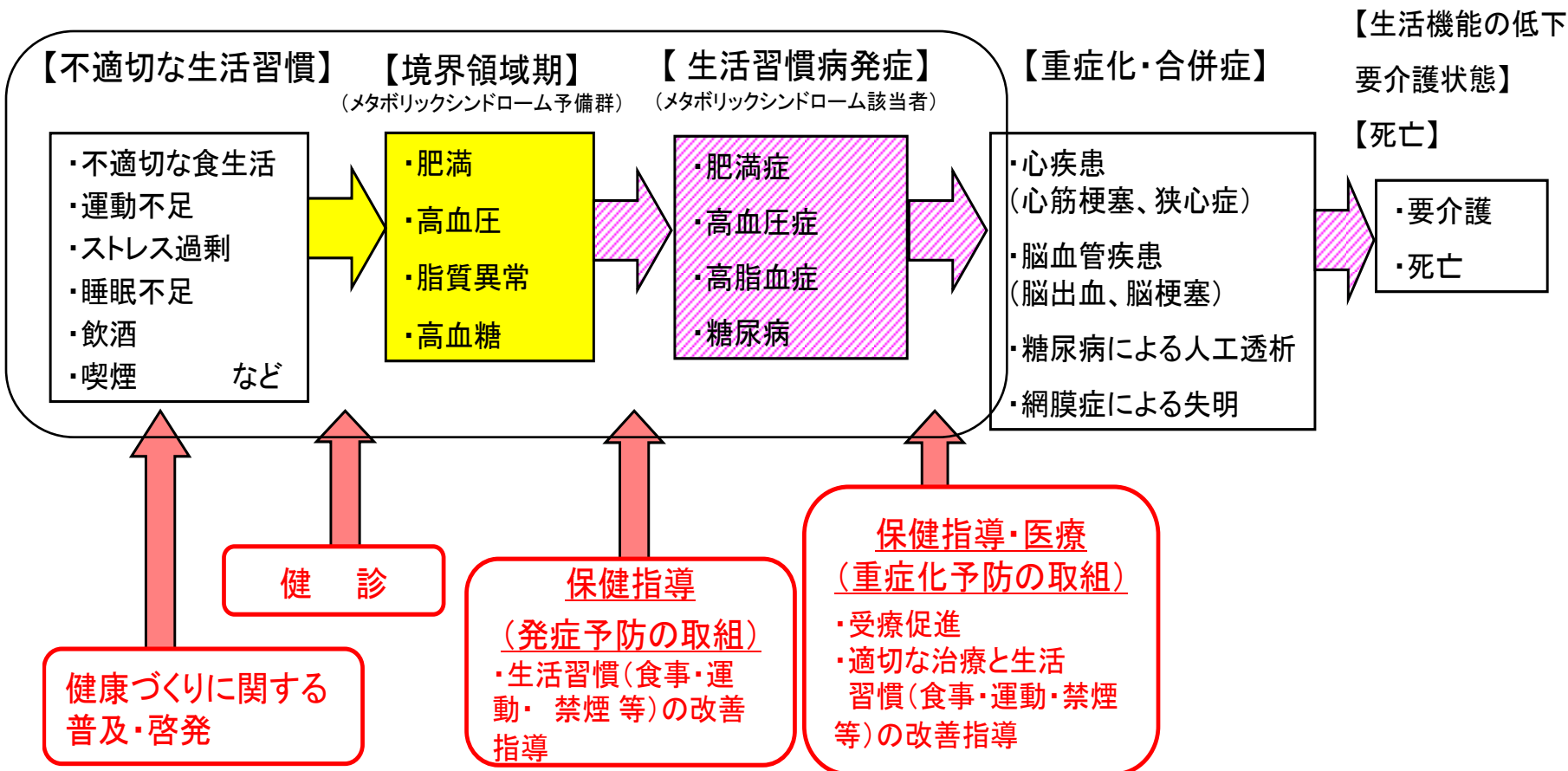
- 脂肪エネルギー比
- 野菜摂取量
- 日常生活における歩数
- 運動習慣のあるものの割合
- 睡眠による休養不足者の割合

等

- メタボリックシンドローム予備群・該当者数
- ・肥満度測定結果(腹囲、BMI)
- ・血圧測定結果
- ・脂質測定結果
- ・血糖測定結果

- 虚血性心疾患新規受診率
- 脳血管疾患新規受診率
- 糖尿病による視覚障害新規発症率
- 糖尿病による人工透析新規導入率

- 虚血性心疾患死亡率
- 脳血管疾患死亡率
- 平均自立期間



○メタボリックシンドロームの概念の浸透度

○健診実施率

○保健指導実施率

○医療機関受診率

○メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少

腎疾患対策

医療提供等の
確保

かかりつけ医-専門医療機関- 集学的医療機関の連携体制の構築

慢性腎臓病診療ガイドラインの作成、人材育成、保健指導
関係団体等との連携、地域連携クリティカルパスの導入

情報提供・相談
体制の確保

慢性腎臓病の重要性・予防法等を 幅広く普及啓発

シンポジウム、市民公開講座等の開催
インターネット等を活用した情報発信
マスメディアを通じた働きかけ

研究開発等の
推進

腎疾患対策研究事業

CKDの病態解明・予防・診断・治療等の研究
早期発見から早期治療につなげる仕組みを確立し、重症化防止
を目指す

慢性腎臓病の
疾病管理

腎代替療法への進展を予防

リウマチ・アレルギー対策

医療提供等の
確保

かかりつけ医-専門医療機関- 集学的医療機関の連携体制の構築

診療ガイドラインの作成・改訂、人材の育成
適切な地域医療の確保、関係団体等との連携

情報提供・相談
体制の確保

リウマチ・アレルギー相談員養成研修会 リウマチ・アレルギー相談センター 等

ホームページ等による情報提供、研修会の実施
専門医療機関等相談窓口の設置
適切な自己管理の手法に係る情報提供

研究開発等の
推進

免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業

病態の解明、予防、診断及び治療法に関する研究
自己管理方法や治療法の確立を行う

リウマチ・アレルギー疾患の重症化予防